

議会だより

平成21年9月 定例会



主な内容

- ②～③ 市長提出議案・請願
- ④ 平成20年度一般会計決算討論
- ⑤～⑨ 市政に対する一般質問
- ⑩～⑪ 常任委員会審査概要

上 ほのぼの公園
右下 永田公園
左下 よこまちの杜

平成21年 第5回定例会

市立図書館等の指定管理者指定、 工事請負契約の締結など可決

平成20年度各会計決算を認定

今定例会は、9月2日から25日までの会期で開催され、市長提出議案28件、請願2件、議員提出議案3件が上程されました。

市長提出議案

市立図書館等に 指定管理者を指定

吉川市民交流センターにおおしす、吉川市立図書館、吉川市視聴覚ライブラリーの指定管理者に「株式会社オーエンス、株式会社図書館流通センター、アイル・コーポレーション株式会社」の共同事業体を指定するものです。
指定期間は、平成22年4月1日から平成27年3月31日までです。

出産育児一時金 支給額42万円に

少子化対策の充実を図るための当面の施策として出産育児一時金の支給額が現行の38万円から42万円に引き上げられます。

《期間》

平成21年10月1日から
平成23年3月31日までの間
の出産

工事請負契約締結

●吉川中央第1調整池排水機場電気設備工事

《工期》

平成22年3月25日まで

《請負業者》

荏原商事株式会社

●雨水函渠工事

《工期》

平成22年3月25日まで

《請負業者》

前田建設工業株式会社

●吉川駅南地区に関連する近隣公園等整備事業

《工期》

平成22年6月30日まで

《請負業者》

独立行政法人都市再生機構
構崎玉地域支社

一般会計補正予算(第2号)

歳入・歳出

15億7千584万7千円の増額

《主な事業》

- ・子育て応援特別手当支給事業 8千347万円
- ・用排水路維持管理事業 1千719万8千円
- ・道路維持補修事業 8千78万5千円
- ・教育振興事業(小学校) 5千805万7千円
- ・教育振興事業(中学校) 5千434万5千円
- ・公民館施設管理事業 1億1千258万4千円

特別会計補正予算(第1号)

●下水道事業特別会計

3億1千575万4千円の増

《主な事業》

- ・公共下水道事業 2億9千541万5千円

●国民健康保険特別会計

5億5千899万円の増

《主な事業》

- ・一般被保険者療養費給付事業 2億7千666万4千円



平成20年度特別会計等
決算を認定

●国民健康保険特別会計	歳入 65億9千231万円
	歳出 61億6千537万円
●下水道事業特別会計	歳入 14億6千12万円
	歳出 14億4千72万円
●老人保健特別会計	歳入 3億7千781万円
	歳出 3億2千13万円
●農業集落排水事業特別会計	歳入 3千698万円
	歳出 3千266万円
●介護保険特別会計	歳入 22億2千437万円
	歳出 21億1千66万円
●後期高齢者医療特別会計	歳入 2億7千556万円
	歳出 2億6千526万円
●水道事業会計	収益的収入 13億6千809万円
	収益的支出 13億4千137万円
資本的収入	1億3千742万円
資本的支出	7億7千906万円

平成20年度一般会計
決算を認定

平成20年度一般会計決算を認定するものです。

歳入 188億2千806万円
歳出 179億8千332万円

《主な事業（歳出）》

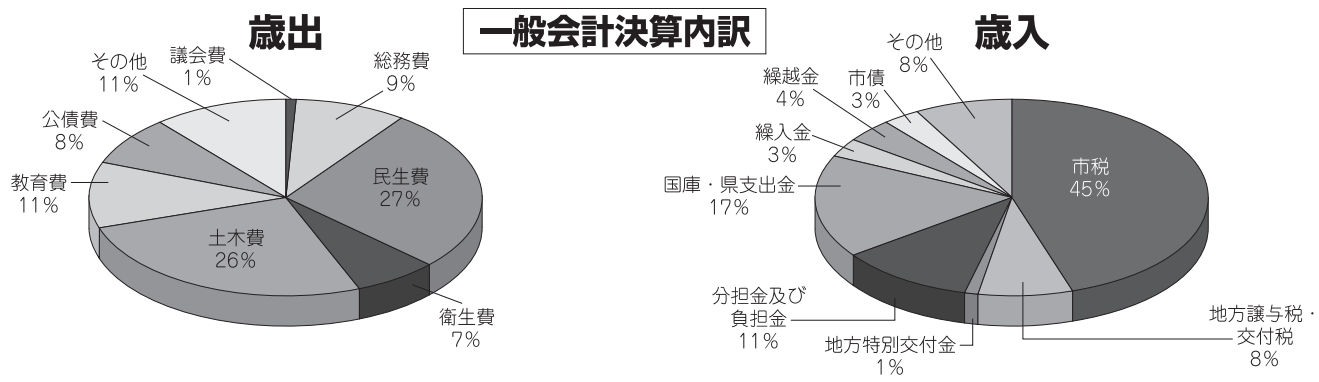
- ・重度障がい者支援事業 1億5千900万6千円
- ・保育委託事業 3億6千777万4千円
- ・生活保護事業 3億6千224万7千円
- ・不燃ごみ処理事業 1億817万8千円
- ・道路改良事業 30億5千738万8千円

※討論の要旨は4ページに掲載しています。

人事案件

- 教育委員会委員 染谷 宗苞（再任）
- 公平委員会委員 真木 吉夫（再任）
- 固定資産評価審査委員会委員 戸井田 均（新任）

一般会計決算内訳



請願

請願2件のうち第3号は賛成全員で採択と決定しました。

第2号「消費税の税率引き上げ反対を求める意見書」の提出を求める請願

請願者 埼玉土建一般労働組合 吉川松伏支部 支部長 岡崎隆生 他1団体

紹介議員 高野昇・小林昭子

百年に一度といわれる未曾有の経済危機に陥り、国内の雇用環境は最悪の事態です。政府は、2011年度から消費税を含む税制抜本改革を行うとし、消費税の税率引き上げにレールを敷きました。米軍への思いやり予算の削減、大企業・資産化への課税強化こそ求められています。消費税率引き上げは営業と暮らしに大きな打撃を与え、消費を冷え込ませ、景気を悪化させる材料にもなりこれ以上の税率引き上げは到底受け入れられない状況であり、政府に意見書を提出することを請願します。

第3号 所得税法第56条の廃止を求める請願

請願者 越谷民主商工会 婦人部

代表 小関あい子 他3団体・300名

紹介議員 小林昭子・高野昇

中小企業者は、地域経済の担い手として営業を続けています。その中小零細業者を支えている家族従業者の「働き分」（自家労賃）は、所得税法第56条の「配偶者とその親族が事業に従事したとき、対価の支払いは必要経費に算入しない」（条文要旨）により、必要経費として認められていません。

家族従業者はわずかな控除が所得とみなされるため、社会的にも経済的にも自立しにくい状況になっており、後継者不足の一因となっています。所得税法第56条を廃止するよう国に意見書を提出してください。

平成20年度一般会計決算討論

歳入:188億2,806万円

歳出:179億8,332万円

討論の要旨は討論者が要約しています。

賛成討論

公明党吉川市議員

小野 潔

平成20年度決算は歳出総額179億8千3百万円、歳入総額188億2千8百万円で歳入歳出ともに増額。自主財源の確保に努め健全な財政運営の結果である。注目すべき点はDV防止及び被害者基本計画の策定、障がい者就労支援センターの委託開始、妊婦健診を5回に拡充、地震・洪水ハザードマップの作成、中

賛成討論

市民改革クラブ

伊藤 正勝

20年度は「財政危機回避3カ年計画」の最終年度。黒字決算の報告は評価。が、3カ年の総括がない。20年度は当初、北谷小の耐震大規模工事を予定、21年度に繰り入れした。数字は先送りや操作によっても変わる。今後の取り組みに期待し認定には同意するが21年度はもっと「解る、見える」内容に工夫してほしい。時代の転換期。例えば税、

央地区区画整理事業や中央排水区第1調整池の整備推進、認定農業者の育成・確保に努め地元産農産物のPRや一店逸品事業の拡充を図る、北谷小、南中の耐震・大規模改修工事の設計がなされた。限られた財源の中で、市民生活の安定と優先度の高いサービス

の提供を評価し賛成します。

反対討論

日本共産党吉川市議員団

遠藤 義法

平成20年度一般会計で使い残したお金が8億4千476万円を超えています。市民要望が「財源がない」と断られており、もっと積極的に要望に応えるべきです。とりわけ60歳以上の方の施設利用無料化が70歳以上に引き上げられ

財政構造の変化。国の景気対策予算の活用状況。都市計画税の使途。新駅。駅南、中央土地事業。吉川橋、新トンネル、道路の進捗。江戸川、中川大場川。国、県、UR等の取り組み含め、まちづくり、福祉、教育の全貌の説明を

賛成討論

自由民主党吉川市議員団

加崎 勇

平成20年度の決算について賛成の立場で討論いたします。平成19年度と比較いたしますと全体的には10・3%の増でありましたが、内容的には駅南区画整理事業に係る道路

温水プールなどの利用が激減したままです。さわやか市民バスの廃止で高齢者や障がい者が病院などへ出かけるのが大変困難となっており、事業を工夫し復活すべきです。

市長は市民参加と強調するが、施設の民間委託など行革の方針を決めれば結論先にあるべきで、市民の声に耳をかさず強行する姿勢は問題です。

平成20年度吉川市一般会計歳入歳出決算の認定について賛成の立場で討論します。20年度決算は厳しい財政状況や、

改良負担金と国庫支出金が増額になったものであり他の収入については大差なく自己財源は、前年並みでありました。

そのような状況下にあっても事業の選択に当たっては、市民への影響度や行政需要を勘案し行っており、特に中学校耐震大規模改修工事や、その他「安心・安全なまちづくり」を主眼に行政運営がなされております。今後とも歳入に見合った歳出構造とし健全運営を期待し賛成討論とします。

賛成討論

民主党

安田 真也

国の三位一体の改革の影響、世界同時不況という多くのマインナス要因があつたが、適正・的確な予算執行があつたと受け止めております。単年度収支は、一般会計・特別会計ともに黒字であり、合算して約3億4千50万円の黒字であった。また、公債比率も目安とされる10%以下を達成しており、良好であります。平成21年度の予算執行や今後の予算編成において、今以上に社会的弱者の救済や市民要望のさらなる取り入れを強くお願いを致します。

市政に対する

一般質問

一般質問は9月18日、24日、25日の3日間にわたって行われ、12人の議員が活発な論戦を展開しました。紙面の都合により、質問・答弁ともに質問者が要約しています。詳細な内容は会議録をご覧ください。

なお、会議録は、市立図書館等で閲覧することができます。また、本会議の会議録は、ホームページでご覧いただくこともできます。ただし、最新の会議録の提供までには3カ月程度かかります。

都市基盤の整備について

中嶋 通治

(問) 新駅へのアクセスについて車両の構内乗り入れのための整備がどのようになされるのか。スーパー「おつかさん」前から南配水場にかけて道路の段差があり歩行者や、自転車の通行に際し危険であるが見解は。

(答) 都市建設部長 北口周辺の整備については、武蔵野線の側道や現道を生かし、暫定的な整備を予定。「おつかさん」前の危険な箇所や段差のある箇所については補修方法を検討しています。

(問) ネオポリス地区の道路改良について、大場川沿いの道路は車の通行に支障をきたしているが、既存の柵渠を撤去し、300の側溝に入れ替えたかどうか。又、歩行者の安全のため、区画線を引くようにすれば如何か。さらに金網フェンスの補修をお願いしたい。

(答) 都市建設部長 住宅側の柵渠は撤去し300の側溝に入れ替え、撤去した部分は歩行

者の安全を考え区画線の設置に向け自治会と協議いたします。

◆子育て支援策の拡充を

(問) 仕事を休めない母親に代わって看護と、保育を行う病児・病後児保育は最も優先する課題であるが実施に向け対象者の年齢は何歳位迄をみているのか。また一日に利用できる定員は、さらにいつ頃を目標とされているのか。

(答) 健康福祉部長 来年の10月頃を目標とし、対象者は、小学3年生まで利用できる。定員は4名位と考えています。

衆議院選挙結果をどう受け止めているか

稲垣 茂行

(問) 衆議院選挙において、民主党が308議席という圧倒的勝利を収めました。一方、自民党は結成以来初めて第一党から転落、破壊的大敗を喫し、自公連立政権は瓦解しました。

このことをどう受け止め、これから起こる変化の中で自治体運営をどうされるのか、市長としての見解を伺いたい。

(答) 市長 民主党、マスコミ等

が「政権選択」と銘打った戦況戦略の下、国民の関心が高まった中行われ、リーマンショックの影響もあるが、我が国に生じているさまざまな課題に対し、民意が反映された結果だと受け止めている。

新政権には、「国民の生活が第一」と訴えた公約に基づき、国民の負託に応えていたきたい。

また、行政を預かる者としては、地域主権の確立に当たり、地方分権の推進を期待するが、責任が増すことも意識しなければならぬと考える。

政権公約実現には、制度変更や多数の財政が必要だが、混乱やしわ寄せが自治体に及ばないようにしてもらいたい。

(問) 政権交代に至った要因・背景をどう考えているのか。

(答) 市長 世界第二位の経済大国にしたのは、50年の自民政権、政治の力だと思ふ。しかし、「時代」を把握できなかった部分もあると感じる。

(問) 「民意」の変化を受け、市としても事業や優先順位の見直しを図ることが必要では。

(答) 市長 市民の意向が、十分反映されていると感じている。

訪問理美容サービスの 事業内容を見直し 導入の再検討を

互 金次郎

(問) 当事業は、利用者が少ないとの判断で、19年度に廃止されたところですが、最近では高齢化が急速に進み、限られた介護施設などには入所ができない在宅介護の方々が増加しています。

近隣市では、利用者の自己負担を住民税課税者は2千円、さらに住民税非課税者は無料とし、低所得の方には一層利用しやすいサービスとして展開している自治体もあります。事業内容を見直し、丁寧な周知を行い、より使いやすいサービスとして再検討しては。

(答)市長 在宅の要介護者は、年々増加しており今後はその利用意向を踏まえて、社会福祉協議会と連携を図りながら、事業について研究します。

◆災害時の早期復旧・復興に備 え支援システムの利活用

(問) 被災者情報を総合的に管理する被災者支援システムを、

平時のうちに構築することは重要です。

西宮市が開発した「被災者支援システム」が無償で利活用できますが。

(答)市長 被災者情報の一元管理により被災者の支援が円滑に進められると聞いています。住基情報との関連や各避難所とのネットワークの形成など、課題があると思われませんが研究します。

都市計画道路(越谷吉川線)の 進捗状況と雨水対策について

五十嵐恵千子

(問) 中央土地区画整理事業により施工する区間が、さくら通りから整備されています。

(答)都市建設部長 ①延長、約1,620m中、平成20年度は、さくら通りから約210m、平成21年度は、約160mを実施し、進捗率約23%となる予定で、引き続き工事を進める。②当該区間である栄町地区の雨水函渠整備は、9月補正で6路線を整備する予



緑のカーテン～市役所～

雨水函渠整備後の道路整備は、地元住民の意向を聞き進める。

◆「緑のカーテン」事業促進 と「吉川市地球温暖化防止 地域推進計画」策定の提案

(答)市長 「緑のカーテン」は現在、一部の公共施設において実施しているが、その他の公共施設についても、可能な限り実施の努力をしていく。

(答)市民生活部長 当市温暖化防止地域推進計画策定は研究。

シックスクール問題 対策について

小野 潔

(問) 学校等において化学物質によって頭痛やめまいがするというシックスクール症候群対策について①「学校環境衛生の基準」の当市での適用、

環境衛生検査の実施は。②購入備品のイス机、パソコン、床ワックス、芳香剤、消臭剤状況は。③無公害水性封止型塗料セーフコートの使用について。

(答)教育長 厚労省の定める基準値を下回り、室内濃度の測

定を2年に1回実施。また、備品は基準値以下の物を購入。セーフコートは今後研究する。教職員へ対応マニュアル作成を視野に対応する。

◆集中豪雨による水害対策に ついて

(問) 高久ポンプ場故障対策として豪雨発生5時間前なりに最終チェックのマニユアル化を、けやき通り駅前ガード冠水と駅周辺の車両バニック対策としてガード道路のかさ上げ、通行止め表示の電光掲示板の設置、防災無線の活用で市民に呼び掛け、床上浸水被害へ災害見舞金の支給を。

(答)各部長 マニユアル化は図る、道路のかさ上げは検討、車両迂回方法の検討、防災無線は有効性を検討。災害見舞金は当面見極めていく。

◆吉川新駅設置について

(問) ①文化・芸術を感じられる駅を。②自由通路に市のインフォメーションの設置、広告収入の考えは。

(答)市長 ①モニユメントの設置、②インフォメーション設置、広告収入は図る。

米価下落、市内農家の状況と求められる対策は

高野 昇

(問) 九州や四国の早場米地帯で、米価が暴落している。市内農家の状況と対策は。

(答)市長 当地域の農協の平成21年度産米については、コシヒカリ60kg当たりの仮渡金は平成20年度と同じと聞いています。

米価下落に対し市として国県に全国一律の生産調整でなく各地域の実情に対応した生産調整を求めていきたい。

◆県の「みどりと川の再生」事業の市としての活用は

(問) 吉川市にとって、河川、農業用水・排水路等の整備は

市民からも切実に求められている課題であり、早急な整備が求められている。県が河川や農業用水路の大規模な整備プランを打ち出しているとき、こうした県の事業を吉川市に活用し、市民要望に積極的に応えるべきでは。

(答)市長 平成21年度に市民から、鍋小路用水路の遊歩道な

どの整備について応募されており、現在選考待ちです。

◆桜並木沿いの木売却し浄化用水導水での整備は

(問) 二郷半用水を浄化用水として導水し、整備するよう求めてきたが、その後の進捗状況は。

(答)都市建設部長 木売却し上流の通水について、川富地内に既存の排水路があり、その活用を葛西用水路土地改良区にお願いし、基本的には可能であるとのことであり、さらに協議検討していきます。

国保税の引き下げを、税と3割の自己負担分の減免拡充を

佐藤 清治

(問) 国保税を引き下げて欲しいとの声にこたえるべきでは。

(答)市長 平成19年度、税率等の検討を行い20年度から施行させていた。

(問) 税の減免制度のさらなる拡充が求められている。

(答)市長 平成20年度に減免要綱を改正し預貯金の要件を3倍から5倍に拡充したところ

であり、考えていない。(問) 国保加入者が医療機関で支払う自己負担分の減免制度の拡充が必要だ。

(答)市長 見直してまいります。

(問) 見直しの具体的内容は。

(答)健康福祉部長 減免率をわけないで、できるだけ免除という形で検討していきたい。

対象においても上限を130/100に定めていきたい。減免の期間についても3ヵ月以内という設定でしたが期間を拡充して見直していきたい。

(問) 見直しのメドはいつか。

(答)健康福祉部長 来年度実施を目途に考えております。

◆衆議院議員選挙等への感想は

(問) 8月30日投票の総選挙で示された、国民の民意についての感想は。また、新政権への期待するののか。

(答)市長 我が国に生じている様々な課題に対し変化を求め、民意が反映された結果であると受けとめております。新政権に対しては国民の付託にしっかりと応えていただき、安心して生活できる社会が実現できることを期待しているところでございます。

新吉川駅は「もっと広く利用しやすく」素晴らしい駅に

齋藤 詔治

(問) 新駅の自由通路、現計画の壁心5m幅では狭すぎです。

子どもやお年寄りに大変不便利です。吉川市の新たな顔・玄関です。将来の発展も考え通路幅を広く、昇降口も大きく余裕ある、夢のある駅への変更を。

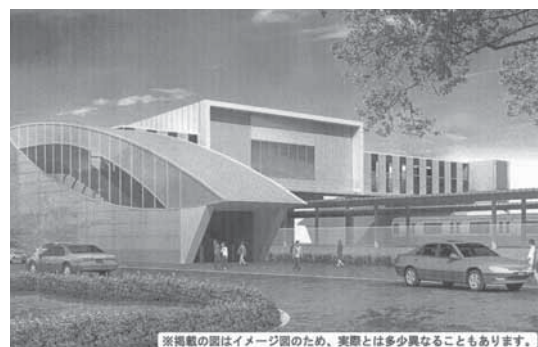
(答)市長 平成19年に実施した新駅設置調査設計に基づき幅4mと算定されたものを5mに拡幅し、階段部分は上下エスカレーターを含め5・38m

5・58mの幅員であり十分確保されています。

(問) 例えば幅を2m広げ7mに、床面積は100㎡増え、財源的には総事業費82億円弱からみて、多大な事業費増にはなりません。後からでは大変、再考を強く要望。

(問) 鉄道建設・運輸施設整備支援機構が所有する、旧コントロールセンター跡地の取得

は。(答)市長 市としてコントロールセンター跡地の活用を想定



新駅イメージ図

してなく現在購入予定はない。(問) 新駅を中心に素晴らしい吉川市づくりに向け、大きな視点に立ち購入をお願い。(答)都市建設部長 当面購入は考えてないが、今後区画整理事業実施の中で、必要であれば購入の検討も考えられる。(問) 操車場跡地の処分が平成24年度内にすべて行われます。鉄道運輸機構の土地売却に先立ち、吉川市に対する公共用地や施設の確保・提供のお願いは、また跡地処分に関してのお願い提案・指導について。(答)市長 まちづくり基準条例を順守し将来の土地利用や公園緑地等の基準整備等要望。

※掲載の図はイメージ図のため、実際とは多少異なることもあります。

安心と希望ある 社会実現のために

遠藤 義法

(問) 雇用不安、子どもを大事にしない社会、将来展望が見いだせない社会。市民は今と将来を憂えています。市民が安心して暮らすことができ、将来に希望の持てる社会をつくるために市長、教育長の現状認識と改善点、自ら実施すべき施策と国への働きかけは。

① 出産費用42万円、妊婦健診14回の無料化も約2年間だけの施策だが継続すべき。
② 保育所の増設を。
③ 幼稚園の費用負担軽減策。
④ 高校授業料の無償化。
⑤ 労働者派遣法を改正し正社員があたりまえの社会を。
⑥ 最低保障年金制度の創設で無年金・低年金の解消を。
⑦ 社会参加ができる交通網の整備、交通手段の確保を。

(答)市長 ①継続の必要性は感じてはいる。しかし継続には財源が必要であり、国の動向を見極めたい。②新たな保育所の必要性は認識している。家庭保育室の増設で乳児の受け

入れ拡大を図りたい。⑤非正規労働者の処遇改善や雇用保険制度拡充などのセーフティネットの充実を全国市長会を通して国に要望している。

⑥生活を安定させるためにも最低保障制度は必要である。

⑦平成18年にバス路線の整備がはかられてきており、多くの方に利用いただいている。

(答)教育長 ③子育て支援の一貫としての制度の充実を国へ要望している。④97%近い進学率であり、経済的負担軽減は必要であり、具体的実施の動向を注視している。

肺炎球菌ワクチン接種 (8000円)に公費助成を

小林 昭子

(問) インフルエンザは呼吸器から感染するため、ぜんそく、気管支炎、閉塞性肺疾患、肺気腫の人は肺炎を起こしやすい重症化します。肺炎を起こすのはウイルスではなく他の細菌であり、肺炎球菌ワクチンの摂取で8割方抑えられ、免疫効果は摂取後5年以上続くと言われてはいます。



三輪野江バイパス

新型インフルエンザに効くこのワクチン摂取に対して、全国的に高齢者等への公費助成制度が広がっています。新型インフルエンザから高齢者の健康を守るためにも早期の公費助成の実施を求めます。

(答)健康福祉部長 効果は期待されています。厚生労働省の「定期接種」位置づけへの動向もある。その時点で積極的に実施していく。

◆三輪野江バイパスと周辺
(問) 来春の全面開通に向け信号機、川端地内交差部分の高抵、北口の改善等県との協議

は十分か。周辺は食べ物を作っている。資材置き場の乱立で良いのか。住民との話し合いは十分か。

(答)市長 県との協議は十分している。道路交差部分は現地確認する。環境への配慮などは指導していく。

◆生活道路の整備

(問) 保・中野地域歩道(ふたかけ部分)の「がたつき」改善を。

(答)都市建設部長 この地域の歩道はふたかけ部分を利用しているところが多い。現在実態調査をしている。

市民に愛される 市役所へ

安田 真也

(問) 各部署が市民に接する際に気をつけていることは。

(答)市長 市民の立場に立ち、真心を込めた対応をするようにしている。

(問) 市民から、役所の対応についての苦情があった。先例主義について見解を求める。

(答)市長 公正・公平という業

務の性格上致し方ない場合もあるが、説明の度合いや応対によって受ける印象が変わるため、市民満足度向上を目指すため、「品質マネジメントシステム」を導入中である。

(問) 内部での先例主義は致し方ないが、市民は相談で役所へ来ている場合が多い。事例がない、前例・先例がないと言ってそこで話を終了させるのはいかがなものか。

(答)政策室長 対応については市民ニーズの実現に前向きに取り組む姿勢で親身な対応が必要であると考え。窓口対応については再度徹底を図っていく。

◆コンシェルジュ制度導入を

(問) 現在総合窓口案内が設置してあるが、それとは別に、問題解決型相談窓口・相談員(コンシェルジュ)を設置し、問題解決までのお世話をすれば、より市民に満足感を与えられるのでは。

(答)政策室長 職員のコミュニケーション能力向上や、再任用制度活用も含めて、コンシェルジュ制度導入について検討をさせていただきたい。

務の性格上致し方ない場合もあるが、説明の度合いや応対によって受ける印象が変わるため、市民満足度向上を目指すため、「品質マネジメントシステム」を導入中である。

市長先頭に「打開」をはかれ!

伊藤 正勝

(問) 吉川橋の架け替え工事も迫っている。上流の新川橋に回る車両の増加が予想されるが、橋の直近に未買収用地があり、道路は機能不全だ。現状と見通しを伺いたい。

(答) 都市建設部長 ご指摘の道路(新川橋からさくら通り、幅員16m)は用地交渉が進ま

ず一部は旧道をそのまま利用している。毎月担当職員が地権者を訪問し、お願いしているがご理解は得られていない。

(問) 三年前に関係の整備補助金を県に返還したが、市長はその後何か手立てを講じたのか。建設委員会でもこの対応では前進は望めないとの声が出ていた。先頭に立つて事態の打開をはかるべきだ。

(答) 市長 その地権者には条件的なものがあるようだが、それはできない。職員は私に代わって行っており、私であれば職員であれ同じだと思う。

(問) 新川橋を渡ると拡幅された道路―真正面に畑が広がっ



吉川橋

ている。いつまで放置するか。新たな条件を付与することができないだけに、熱意と説得力が必要だ。市長と職員は同じではない。市民のために、市民の利益、利便のために最大限のエネルギーを発揮し、お願いし協力を取り付けてもらいたい。副市長にその役を命じてもよい。最後は市長が乗り出す、リーダーシップを求めたい。

(答) 市長 決して避けているわけではない。いろいろあるが一日も早い解決に向け努力したい。

議員提出議案

意見書

今定例会では、次の3件を可決し、内閣総理大臣等へ提出しました。(一部抜粋)

子どもの医療費のさらなる負担軽減と医療費助成実施を理由とする国民健康保険に係る国庫負担金の減額算定措置廃止を求める意見書

国会及び政府は、子育て支援の観点から、子どもの医療費の助成制度を国において緊急に制度化するとともに、十分な財政措置を講じること。また今後とも、安定的に安全で質の高い医療を提供していく必要および福祉的観点から実施されている医療費の公的負担制度の重要性や必要性を鑑み、国民健康保険に係る国庫負担金の減額算定措置を廃止するよう強く要望する。

教育費負担を軽減し、給付制奨学金の創設を求める意見書

憲法は国民に「ひとしく教育を受ける権利」(第26条)を保障しています。経済的な理由で高校から排除される若者を出さないことは、誰もが否定できない政治の責任です。そのために以下の施策の実施を強く求めます。

- 1 当面の緊急策として高校生救済貸し付けをおこなうこと。
- 2 国と自治体の責任で、授業料減免と奨学金を拡充し、交通費補助制度をつくること。
- 3 高校授業料を無償化すること。
- 4 高校授業料の給付制奨学金制度を創設すること。

所得税法第56条の廃止を求める意見書

中小企業は、地域の担い手として、日本経済の発展に貢献してきた。その中小零細業者を支えている家族従業員の「働き分」(自家労賃)は、

税法上、所得税法第56条「配偶者とその親族が事業に従事したとき、対価の支払いは必要経費に算入しない」(条文要旨)により、必要経費として認められていない。個人事業主の経営安定を図るためにも、家族従業員の自家労賃を全額経費として認め、また、税法上だけでなく、民法、労働法でも家族従業員の人權を認め、社会保障の基礎をつくるためにも、所得税法第56条を廃止することを求めるものである。

議云を傍聴しませんか

皆さまの選んだ議員が、吉川市を明るく住みよいまちにするために審議しておりますので、議員の活動や市政の動向を知るためにも傍聴してみませんか。傍聴の際には3階議場前受付にて受付簿に氏名・住所を記入していただきます。

委員会の審査も傍聴することができます。なお、傍聴する際には「携帯電話の電源を切る」など守っていたく事項があります。



市役所庁舎

総務 水道

第46号議案 「南中プールの屋根の鉄骨の錆びがひどく、修繕されていない。プール槽塗装時になぜ一括して修繕しなかったのか。財政の査定を考へや優先順位についての考へ方は」 「路線バス運行費補助金が、前年度比で増加となっている理由はジャパントロースへの補助と思われるが、その理由は」 「市税や国保税などの滞納者が多い。もっと

具体的な支援をしたほうがよい。前進はしているようだが、今一步という感があるがどうか」 「人件費が約6千万円減だがその内容は」 「使用料で、プール利用者数の推移は、高齢者の利用料金免除を60歳から70歳に引き上げ、利用者数が減少したことから下げ止まっている。使用料減額を考へ、利用してもらおうべきではないか」等の質疑応答があり、討論なし。賛成多数で認定。

第53号議案 要旨説明聴取後、「3月の委員会では武操跡地とこれに関わる水道管布設が問題とされたが実施となった、今の説明では布設を延期したようになってるが」 「工事遅延の内容とその理由は」等の質疑があり、討論なし。賛成多数で認定。

第54号議案 「庁舎修繕は、国の経済対策臨時交付金を活用するものなのか。この臨時交付金は3億円程度あると思われるがこれに係る事業全体は、市内業者への発注を配慮していくのか。」 「緊急雇用対策事業は、市内に限らず市外も含めた雇用創出なのか。」等の質疑があり、討論なし。採

決の結果、賛成多数で可決。

第61号議案 債務負担行為は、前回より金額が増額されている、内容は、との質疑で、討論なし。賛成全員で可決。

請願第2号 願意はもともとであり、社会保障の充実が求められている。各党微妙に見解が違っているので2010年度予定の税制改革で議論されるべき。様子を見たい、等の意見が出され、意見聴取後、討論なし。賛成少数で不採択。

請願第3号 確定申告の青色の人は給料経費を認め、白色は認められないのはおかしい、きちんと働いた者については同じように認めるべきである、等の意見が出され、意見聴取後、討論なし。賛成全員で採択。最終日に意見書を上程。

委員会 概要

文教福祉の議案審査、
の議案審査、
審査が行われました。
各常任委員長が要約しました。



市民農園

建設 生活

第39号議案 質疑として、生活が大変な時期に改正する理由は。答弁として、受益者の使用料で土地借上げ料と維持管理費を賄う必要があることです。採決の結果、賛成多数で可決。

第41号議案 質疑として、事業の進捗率は。答弁として、21年度で暫定的に排水が可能です。採決の結果、賛成多数で可決。

第46号議案 質疑として、道路側溝の清掃は、高齢者も多くなり清掃基準の見直し、検討は。答弁として、市で行ってほしいとの要望が多い。予算の確保が課題です。

質疑として、駅南地区の総事業費は。答弁として、用地費を含め83億円、うち道路等の公共施設整備費は34億円。

質疑として、武蔵野操車場跡地周辺の整備方針63haのその後の検討内容と用途は。答弁として、県と調整中で今年度中にめどをつけたい。用途内容は、住宅系中心の複合系です。

質疑として、武蔵野操車場跡地総事業費は、主な内容は。答弁として、総額120億円、

文教 福祉

第36号議案 出産育児一時金の支給額を現行の38万円から42万円に引き上げるのは、今年10月1日から平成23年3月までの暫定措置とあるが、23年度からはどうなるのかに対し、国からの通知によると引き続き検討を行い、所要の措置を講ずる予定とのこと。採決の結果、賛成全員で可決。

第40号議案 今回決まったグループのポイントを説明してほしいに対し、応募書類、ヒアリング、プレゼンテーションの内容、経営状況その他書類を評価した結果、審査で得点化した数値の合計点が最も高かった事業者を選定した。また、公営では同じことができないのかに対し、今まで以上に図書館などでのサービス向上が図れるとともに、経費の削減が図れるとのこと。採

決の結果、賛成多数で可決。

第54号議案 健康福祉部担当分では、一人暮らしの高齢者の方々に配布する安心リュックはいつから配布を始めるのか。また、何を入れるようにするのかに対し、できるだけ早い時期に行いたい。中身については、かかりつけ医や既往歴などを記入する「お薬手帳」のほか、着替えやタオル、保険証の写しなどを案内していくとのこと。新型インフルエンザワクチン接種について介護職員も優先的にすべきとの意見を上げていくべきと考えるがに対し、国が接種の優先順位を検討している段階であり、ワクチンの量は限られており、国が決めた中で対応していくとのこと。

教育委員会担当分では、今回の補正予算は、スクールニューディール構想に基づくものと思うが、事業をするにあたっての基本的な考えはに対し、
*学校ICT、耐震、エコからなっているが、ハード面の学校の耐震化がまず必要と考え実施していく。ソフト面については、ハード面が整備された後に検討していきたい。ま

常任 審査

9月9日・10日に総務水道と
9月11日・14日に建設生活
9月15日に総務水道の請願
委員会での主な審査内容を



市民交流センターおあしす

た、中学校3校のパソコン教室のパソコンを40台ずつ入れ替え、教師用パソコンは小学校7校に201台、中学校に103台入れ替えるとのこと。採決の結果、賛成多数で可決。

*ICTは情報や通信に関する技術の総称のこと。(Information and Communications Technology)

平成21年12月(第6回)
定例会の予定
○12月2日 開会・議案上程
○12月4日 議案審議
○12月7日 委員会(議案審査)
○12月8日 委員会(議案審査)
○12月9日 委員会(請願審査)
○12月11日 委員長報告・採決
○12月14日 一般質問
○12月15日 一般質問
○12月16日 一般質問・閉会

道路や河川の築造に50億円、駅舎の負担金で35億円、上下水道で約35億円です。

質疑として、中央土地区画整理の補助金、事業終了見込み、公売状況は。答弁として、県補助金は要望通りの交付で、25年度終了は厳しい状況、保留地は200区画公売し、185区画の処分です。

質疑として、越谷吉川線の移転状況は、吉川橋の仮橋は。答弁として、7月末で8件、物件補償6軒。仮橋は、車両が通行可能な仮橋は、高額で難しいと県から聞いています。

質疑として、越谷総合公園川藤線事業未買収地の進展と方策は。答弁として、月1回程度用地交渉を行っています。が理解を得られない。三郷吉川線の北部延伸なども検討しています。

質疑として、廃棄物減量等推進審議会の答申内容は。答弁として、ごみ有料化は市民の意識改革、ごみ減量化を図り、不公平感正が目的。ごみ減量策の結果を踏まえ有料化の可否と時期を検討する。採決の結果、賛成多数で原案の通り認定しました。

審 議 結 果

平成21年第5回定例会審議結果

市長提出議案

○=賛成、×=反対、□=一部退席

議案番号	議 案 名	委員会	結果	自民	共産	公明	市改	民主
報告3号	専決処分事項の承認について（吉川市保育の実施及び保育料に関する条例の一部を改正する条例）	省 略	承 認	○	○	○	○	○
第36号	吉川市国民健康保険条例の一部を改正する条例	文教福祉	原案可決	○	○	○	○	○
第37号	吉川市在宅重度心身障害者手当支給条例の一部を改正する条例	文教福祉	原案可決	○	○	○	○	○
第38号	吉川市手数料条例の一部を改正する条例	建設生活	原案可決	○	○	○	○	○
第39号	吉川市グリーンファーム条例の一部を改正する条例	建設生活	原案可決	○	×	○	○	○
第40号	指定管理者の指定について	文教福祉	原案可決	○	×	○	○	×
第41号	工事請負契約の締結について	建設生活	原案可決	○	○	○	○	○
第42号	工事請負契約の締結について	建設生活	原案可決	○	○	○	○	○
第43号	教育委員会委員の任命について	省 略	同 意	賛成多数				
第44号	公平委員会委員の選任について	省 略	同 意	賛成全員				
第45号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	省 略	同 意	賛成全員				
第46号	平成20年度吉川市一般会計歳入歳出決算の認定について	各委員会	原案認定	○	×	○	○	○
第47号	平成20年度吉川市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	文教福祉	原案認定	○	×	○	○	○
第48号	平成20年度吉川市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	建設生活	原案認定	○	○	○	○	○
第49号	平成20年度吉川市老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について	文教福祉	原案認定	○	○	○	○	○
第50号	平成20年度吉川市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	建設生活	原案認定	○	○	○	○	○
第51号	平成20年度吉川市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	文教福祉	原案認定	○	○	○	○	○
第52号	平成20年度吉川市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	文教福祉	原案認定	○	×	○	○	×
第53号	平成20年度吉川市水道事業会計決算の認定について	総務水道	原案認定	○	×	○	○	○
第54号	平成21年度吉川市一般会計補正予算（第2号）	各委員会	原案可決	○	×	○	○	○
第55号	平成21年度吉川市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	文教福祉	原案可決	○	○	○	○	○
第56号	平成21年度吉川市下水道事業特別会計補正予算（第1号）	建設生活	原案可決	○	○	○	○	○
第57号	平成21年度吉川市老人保健特別会計補正予算（第1号）	文教福祉	原案可決	○	○	○	○	○
第58号	平成21年度吉川市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	建設生活	原案可決	○	○	○	○	○
第59号	平成21年度吉川市介護保険特別会計補正予算（第1号）	文教福祉	原案可決	○	○	○	○	○
第60号	平成21年度吉川市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	文教福祉	原案可決	○	○	○	○	○
第61号	平成21年度吉川市水道事業会計補正予算（第1号）	総務水道	原案可決	○	○	○	○	○
第62号	工事請負契約の締結について	建設生活	原案可決	○	○	○	○	○

請 願

第2号	「消費税の税率引き上げ反対を求める意見書」の提出を求める請願	総務水道	不採択	×	○	×	×	×
第3号	所得税法第56条の廃止を求める請願	総務水道	採 択	○	○	○	○	○

議員提出議案

◎=提出した会派

第11号	子どもの医療費のさらなる負担軽減と医療費助成実施を理由とする国民健康保険に係る国庫負担金の減額算定措置廃止を求める意見書	省 略	原案可決	○	◎	○	○	○
第12号	教育費負担を軽減し、給付制奨学金の創設を求める意見書	省 略	原案可決	○	◎	○	○	○
第13号	所得税法第56条の廃止を求める意見書	省 略	原案可決	○	○	○	○	○

※自民=自由民主党吉川市議員団、共産=日本共産党吉川市議員団、公明=公明党吉川市議員団、市改=市民改革クラブ、民主=民主党

編集後記

秋の花 尾花葛花
 瞿麦の花 女郎花また
 藤袴 朝貌の花

春の七草は馴染みがありますが、秋の七草はあまり馴染みがありません。先日妻と幸手市の権現堂堤に彼岸花を見に行つてまいりました。私の子どもの頃この花はところどころの道端に咲いていたのですが最近観光の目玉として何万何十本の群生地をつくり多くの人がそこを訪れていきます。今年の夏は歴史に残る政権交代がありました。今回は中選挙区から小選挙区になり5回目でもあります。この制度はそもそも2大政党を育てる制度で容易に政権交代が可能になります。

(M・T)